上野西小だより

http://school.iga.ed.jp/uenonishi-e/

２０２３．９．２９発行

第６号

校長室より

確かな学力を身につけるために～全国学力・学習状況調査結果から～

本年４月に小学校６年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果が届きました。本校の学力の状況、学習状況調査からみえる子どもたちの現状、今後の取組についてお伝えします。

１　学力調査結果・・・全国と比べて

◇国語：「全国と比べて上回っている」

◇算数：「全国と比べて上回っている」

※「全国と比べて上回っている」⇒学校正答率が全国正答率に対して＋５％以上
「全国と比べてやや上回っている」⇒学校正答率が全国正答率に対して＋２％以上５％未満
「全国と比べてほぼ同じである」⇒学校正答率が全国正当率に対して±２％未満

【設問ごとの結果からわかった本校の子どもたちの強み◇と弱み◆】

《国語》

◇目的を意識して、中心となる語句や文を見つけて要約する。（選択問題）
⇒本校正答率96.4%（全国正答率90.0%）

◇目的や意図に応じて内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる。（選択問題）
⇒96.4%（70.2%）

◆図やグラフ等が示すことをもとに自分の考えをまとめ、60～100字以内で記述する。⇒40.5%（26.7%）

◆資料を読み、わかったことをもとに、自分が実行できそうなことをまとめ、80～100字以内で記述する。
⇒66.7%（56.2%）

《算数》

◇比例や台形、正方形の意味や性質について理解している。⇒91.2%（78.5%）

◇（　　）を用いた式や加法と乗法の混合した式の意味を理解し、読み取ることができる。（選択問題）
⇒90.5%（70.3%）

◆三角形の底辺と面積の関係をもとに面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する。
⇒17.9%（20.8%）

◆折り紙を折ったり、切ったりしてできた図形の角の大きさを求める。⇒31.0%（24.9%）

学力調査の結果は上記の通りでしたが、子どもたちが一生懸命に取り組み、最後まで諦めずに解答しようとしていた姿が結果に表れています。また、記述式の問題に対して苦手意識はみられるものの、粘り強く取り組むことで無回答率も全国と比べて低い結果となりました。これまでの取組が子どもたちの学力向上につながってきていると感じています。

一日の大半を占める授業が「わかる」、できなかったことが「できた」という実感ほど、次への

学習意欲や学校生活の充実感につながるものはありません。今回の学力調査の結果を分析し、職員間で共有して今後の授業改善に活かしていきます。しかし、学力の定着には家庭の協力が不可欠です。保護者の皆様におかれましては、学習の励みや確認になるよう声かけをしていただき、日々の家庭学習への取組へつなげていただきますようよろしくお願いします。

２　学習状況調査結果・・・肯定評価を全国と比べて　※(　)は全国の割合

○学校生活のことについて

①人の役に立つ人間になりたいと思う。⇒96.7%（95.9%）

②いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。⇒98.9%（96.9%）

③自分と違う意見について考えるのは楽しい。⇒82.5%（76.5%）

④外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい。⇒85.7%(62.4%)

⑤自分にはよいところがある。⇒80.3%（83.5%）

⑥朝食を毎日食べている。⇒89.0%（93.2%）

⑦毎日、同じくらいの時刻に寝ている。⇒75.9%（81.0%）

「いじめはいけないことだ」「人の役に立つ人間になりたい」といった倫理観につながる項目や「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい」といった他者への理解や人権感覚につながる項目は全国と比べると高い。一方で、「自分には、よいところがある」「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」といった自己肯定感や生活習慣につながる項目は全国と比べると低かった。

○家庭学習と読書について

①家で、自分で計画を立てて勉強をしている。　77.0%(70.7%)

②学校の授業時間以外に、普段（月～金）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をするか。（学習塾・家庭教師・インターネットを活用して学ぶ時間を含む）

３時間以上	9.9%(11.8%)	２時間以上３時間未満	9.9%(13.8%)
１時間以上２時間未満	35.2%(31.5%)	30分以上１時間未満	28.6%(26.9%)
30分未満	12.1%(11.4%)	全くしない	4.4%(4.6%)

③普段（月～金）、１日当たりどれくらいの時間、読書をするか。（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

２時間以上	9.9%(7.6%)	１時間以上２時間未満	8.8%(10.9%)
30分以上１時間未満	22.0%(18.8%)	10分以上30分未満	33.0%(22.7%)
１分以上10分未満	11.0%(15.4%)	全くしない	15.4%(24.5%)

家庭学習については、自主学習等「自分で計画を立てて自ら学ぶ姿勢を養う」ことにも重点を置いていきたい。家庭学習の量は、文部科学省は学年×10分以上という目安を示し、本校でも取組を進めている。徐々に数値は高くなっているものの高学年になるほど家庭学習の時間が伸びていない現状がある。

読書については、学校での朝の読書タイム等の取組によって「全くしない」児童の割合は低いが、学校での読書を家庭読書や読書習慣へどうつなげていくかが課題である。

【保護者の皆様へお願い】家庭学習や読書の習慣化を！

～家庭学習や読書習慣を支える子どもへの働きかけ～

①生活のリズムをととのえる。　→「早寝早起き朝ごはん」「ルール・約束事を決める(携帯電話を含む)」

②学ぶ環境をととのえる。　→「家庭学習の計画を立てる」「復習する」「家庭で一緒に読書を」

③努力を認め、はげます。　→「具体的にほめる」「結果だけでなく頑張りを認め、はげます」

④子どもと話をする。　→「学校のこと、友だちのこと、将来や進路のことなど話をする」

※子どもたちの日常の様子については、「上野西小学校ホームページ」

（ http://www.iga.ed.jp/uenonishi-e ）にて公開しています。